

2025 年 1 月 23 日

通貨ニュース

マレーシア：1 月金融政策会合～現状維持、景気・インフレは安定的に推移

マレーシア中銀(BNM)は22日の金融政策委員会(MPC)で、政策金利を従来の3.00%に据え置いた。政策金利の現状維持は23年7月以降、10会合連続での決定となった(図表1)。ブルームバーグの事前予想では現状維持が優勢だった。

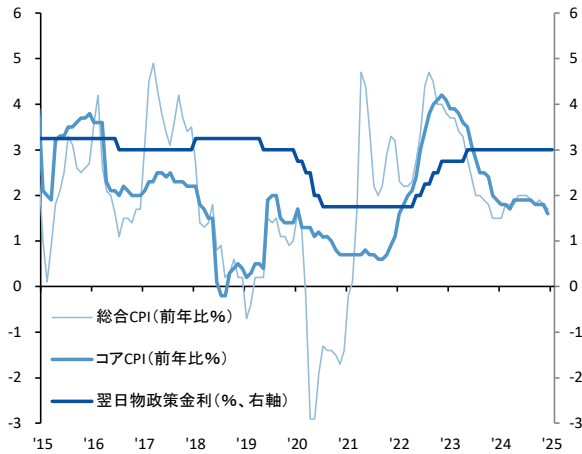
声明文では世界経済について想定よりも成長が進んだとした一方、先行きに関しては政治・経済動向など不確実性が多く存在する点に言及した。マレーシア経済については想定通りの成長が継続していると総括。10～12月期実質GDP成長率(速報)は前年同期比+4.8%と前四半期の同+5.3%から鈍化したものの、サービス部門や製造業部門を中心に堅調さを保った(図表2)。速報ベースではあるものの、年間での成長率は前年比+5.1%と23年の同+3.6%から加速することはほぼ確実である。BNMは25年についても、堅調な個人消費、労働市場の回復、民間・政府における投資の活性化、電子製品輸出の持ち直し、観光業の本格化など複数の景気押し上げ要因に触れつつ、前年比+4.5～5.5%の間で底堅く推移するとの見方を示した。

物価動向に関して、12月消費者物価指数(CPI)は前年比+1.7%、生鮮食品と政府による価格統制品を除くコアベースは同+1.6%を記録した(図表3)。年初以降、総合・コアベースとも+2%近辺での動きが続き、年間で見ても、総合・コアベース共に同+1.8%の上昇となった。BNMは先行きのインフレに関して、制御可能であるとの見方を変えておらず、25年についても現行の水準を安定的に推移すると見込んでいる。

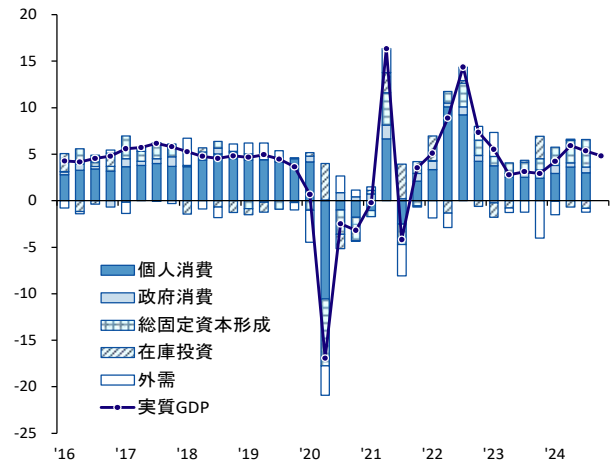
かかる中、BNMは現行の金利水準は引き続き景気を下支えし、現行の物価と経済の評価と整合的であるとして、政策金利を維持した。声明文や会見の内容を踏まえても、少なくとも今後数回の会合は現状維持を中心に検討されていくものと推測される。また、BNMは現行のMYR相場について、引き続き主に外部要因に左右されているとし、先進国との金利差縮小はMYRにとってプラスと指摘した。米国との金利差に着目すると、9月に米国の利下げ期待が強まった段階で一時両国の金利差は逆転したが、足許にかけては米金利の騰勢が強まったことで対米金利差は拡大傾向にあり、直近数か月のMYR動向はこうした金利差変動に付随するような動きとなっている(図表4)。また、その金利差の動きはほとんどが米国側の要因であり、BNMが利下げを急がない理由として不確実性の強い米国の政治・金融政策動向も意識したと考えられる。現状、米国の利下げは2回と予想されており、少なくとも上半期に1度以上は利下げに着手すると考えられる。その前提に従えば、両国の金利差拡大は今後頭打ちとなりそうだが、BNMが金融政策を転換しない限りは大きく縮小することもないと予想する。故に、金利の観点では現行の水準から大きく為替が動くとは考えにくい。が、トランプ大統領の就任会見前後ではMYR相場も動意づいており、対中関係強化をはじめとする個別のヘッドラインが短期的にリスクオフ傾斜の材料とな

金融市場部
シニアマーケット・エコノミスト
堀 堯大
03-3242-7065
takahiro.hori@mizuho-bk.co.jp

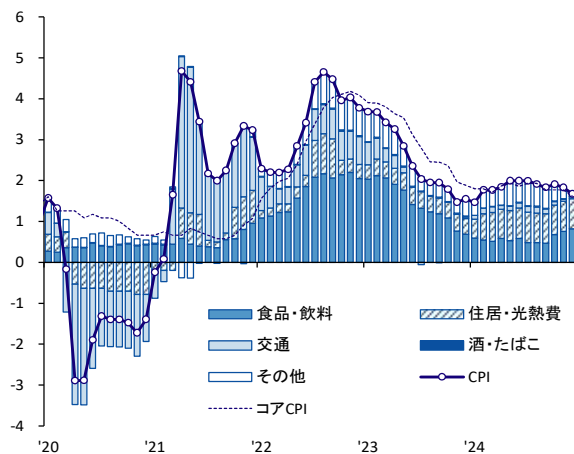
ってMYRを含めたASEAN通貨にも影響が及ぶといった展開は大いに想定される。もっとも、マレーシア経済は周辺国と比較して堅調であり、仮に市場がリスクオフに傾いたとしても変動幅は小幅に留まると思われる。以上を踏まえて、現段階では25年1～3月期の想定レンジを4.29～4.65としている。

図表 1: 政策金利とインフレ率


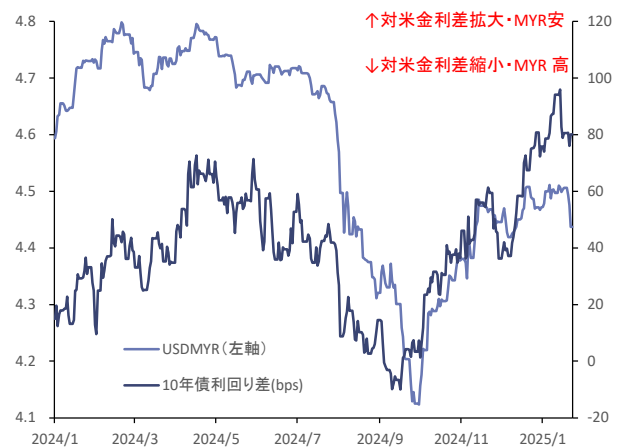
出所: ブルームバーグ、みずほ銀行

図表 2: 実質 GDP 成長率の推移 (前年比%, %ポイント)


出所: CEIC、みずほ銀行 注: 24 年 10～12 月期は成長率のみ

図表 3: 消費者物価指数の動向 (前年比%, %ポイント)


出所: CEIC、みずほ銀行

図表 4: 対米金利差(米国－マレーシア)と MYR 相場の動向


出所: ブルームバーグ、みずほ銀行

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。